

めぐみイエス・キリスト教会

2025年6月22日(日) 第四主日礼拝

午前10時より

週報「通算第764号」



2025年標題聖句

イザヤ書40章30節～31節

《若者も疲れて力尽き、若い男たちも、つまずき倒れる。しかし、主を待ち望む者は新しく力を得、鷲のように、翼を広げて上ることができる。走っても力衰えず、歩いても疲れぬ。》

第一礼拝(教会にて) 毎週日曜日 午前10時～11時

第二礼拝※中止

聖書の学びと祈り会 毎週水曜日 午後6時～(各家庭にて)

牧師 鈴木 竜 実
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◎礼拝プログラム

| | | |
|--------|----------------------------|--------|
| 【前奏祈祷】 | | |
| 【賛美Ⅰ】 | 新聖歌136「御霊よ降りて」 | p. 192 |
| 【交読文】 | No.55 ヨハネの福音書15章(抜粋) | p. 923 |
| 【賛美Ⅱ】 | 新聖歌385「主よ終りまで」 | p. 620 |
| 【使徒信条】 | | |
| 【主の祈り】 | | |
| 【前回説教】 | | |
| 【賛美Ⅲ】 | オリジナル曲「聖霊の風」 | |
| 【聖書朗読】 | ルカの福音書9章43節～45節 (p. 133上段) | |
| 【礼拝説教】 | 《十字架とは?》 | |
| 【聖餐式】 | | |
| 【賛美Ⅳ】 | 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 | p. 236 |
| 【平和祈り】 | | |
| 【頌 栄】 | 新聖歌63 「父・御子・御霊の」 | p. 85 |
| 【祝祷後奏】 | | |

※本日の聖書箇所(ルカの福音書9章43節～45節)

9:43 人々はみな、神の偉大さに驚嘆した。イエスがなさったすべてのことに人々がみな驚いていると、イエスは弟子たちにこう言われた。

9:44 「あなたがたは、これらの言葉を自分の耳に入れておきなさい。人の子は、人々の手に渡されようとしています。」

9:45 しかし、弟子たちには、この言葉が理解できなかった。彼らには分からないように、彼らから隠されていたのであった。彼らは、この言葉についてイエスに尋ねるのを恐れていた。

●ポイント1. 第一回目の受難予告から

※ルカの福音書9章22節～23節「弟子のキリスト告白後」(新約p.131)

9:22 そして、人の子は多くの苦しみを受け、長老たち、祭司長たち、律法学者たちに捨てられ、殺され、三日目によみがえらなければならない、と語られた。

9:23 イエスは皆に言われた。「だれでも私について来たいと思うなら、自分を捨て、日々自分の十字架を負って私に従って来なさい。」

●ポイント2. マルコの福音書における平行記事から

※マルコの福音書9章14節～15節「律法学者たちの存在」(新約p.84)

9:14 さて、彼らが他の弟子たちの所に戻ると、大勢の群衆がその弟子たちを囲んで、律法学者たちが彼らと論じ合っているのが見えた。

9:15 群衆はみな、すぐにイエスを見つけると非常に驚き、駆け寄って来てあいさつをした。

●ポイント3. 「人の子」とは

※ダニエル書7章13節前「ダニエルの夜の幻から」 (旧約p.1522)

7:13 私がまた、夜の幻を見ていると、見よ、人の子のような方が天の雲とともに来られた。

※マタイの福音書26章63節～64節「最高法院において」(新約p.59)

26:63 そこで大祭司はイエスに言った。「私は生ける神によっておまえに命じる。おまえは神の子キリストなのか、答えよ。」

26:64 イエスは彼に言われた。「あなたが言ったとおりです。しかし、私はあなたがたに言います。あなたがたは今から後に、人の子が力ある方の右の座に着き、そして天の雲と共に来るのを見ることとなります。」

●ポイント4. 「神の愛」とは

※第 I ヨハネ4章9節～10節「使徒ヨハネの見解」 (新約p.483上段)

◎先週のメッセージ【悪霊を追い出す権威とは？】

《次の日、主イエスの一行がヘルモン山から下りて来ますと、何と大勢の群衆が出迎えたとあります。

この記事は、三つの共観福音書に書き記されています。よって、主は非常に大切な真理を私たちに教えていることが分かります。

この出来事から二つの真理を学びます。一つは、悪霊を追い出す権威のことです。これは、主イエスを信じ従うクリスチャンならば、誰にでも与えられています。まず、私たちがしっかりと知っておかなければならないことは、悪魔と悪霊は空想や物語の産物ではなく、この世界に実在するということです。すべての犯罪の背後には、必ず悪霊が関わっています。またすべての病気も悪霊が引き起こしていると、私は信じています。私たちには、主イエスの御名によって、悪霊を縛り、追い出す権威が与えられています。

そしてもう一つは、主が弟子たちの質問に答えた答えにあります。「なぜ私たちは悪霊を追い出せなかったのですか。」

「あなたがたの信仰が薄いからです。もし、からし種ほどの信仰があるなら、この山に『ここからあそこに移れ』と言えば移ります。あなたがたにできないことは何もありません。」

主は、この出来事を通して、私たちの信仰のあり方を教えています。私たちは、ちょっと物事が上手く行かなくなると、神様に対して疑いを持つのです。ヘブル人書の著者は、信仰についてこう勧めています。『さて、信仰は、望んでいることを保証し、目に見えないものを確信させるものです。信仰がなければ、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神がおられることと、神がご自分を求める者には報いて下さる方であることを、信じなければならないのです。』と。

私たちの主イエスは、何時いかなる時も、私たちと共にいて下さいます。このお方を信じ、従って行くことが信徒に求められています。》

◎お知らせ

※次回第五主日礼拝は、2025年6月29日午前10時より行ないます。